



人体

もっと知ろう！自分の体



スマホ・タブレットで本を読もう！
どうやって使うの？どんな本があるの？



<https://web.d-library.jp/kyotocity/>

『左利きあるある右利きないない』

左 来人／著 ポプラ社



左利きの割合は、全人口の10%ほどと言われています。つまり、この世界の九割の人が右利き。世の中にあるものの多くも、実は右利きの人がいやすいように作られています。「左手で普通のはさみを持つと切りづらい」や「授業でノートを取ると、常に左手が汚れて真っ黒」など、この本を読めば、左利きの方は共感間違いなし！ 右利きの方もこの本を読めば、左利きの方が日々感じているあれこれを知るきっかけになるかも。

『のうだま(1)』やる気の秘密

上大岡 トメ／著 池谷 裕二／著 幻冬舎



計画表を作るのは大好きなのに次の日に挫折するソコのあなた！ 素敵なお知らせです。「脳は飽きっぽくできていて、三日坊主は当然である。」何と性格ではなく、脳機能のせいだったのです。飽き性のダメ人間を代表して、イラストレーターの上大岡トメが、脳研究者の池谷裕二に脳をだましてやる気を出す方法を教わります。全編通して漫画仕立てになっているので、楽しく最後まで読めるはず。

『水まきジイサンと図書館の王女さま』

丸山 正樹／作 偕成社



「手話は聞こえない人たちにとって大切な言語である。聞こえない人々と手話で会話できるようになってほしい。」
手話通訳士で育ての父でもあるアラチャンが美和に言った言葉です。少々おせっかいなぐらい人にかかわっていく美和。人前で話すのが苦手な英知とともに手話を使いながら、身近に起こる事件を解決していきます。長い時間を経ても、大人になっても忘れない思い出に心が温かくなります。

『骨と関節のしくみ・はたらきゆるっと事典』

坂井 建雄／監修 永岡書店



おそらく生涯お目にかかることのない自分の骨。骨は毎日代謝していて、常に新しい骨に置き換わっていることをご存じでしょうか？ 体内にあるたくさんの骨が実にうまく連動して、体が動いています。それぞれに大きな役割を担っているのですが、「腓骨(ひこつ)はなくてもよいちよろい骨」と著者は言います。実は私も骨折した時に、主治医からそう聞いてびっくりしたことがあります。骨と関節の知識と不思議がたくさん詰まっている楽しい本です。

『「人体、マジわからん」と思ったときに読む本』

千田 隆夫／著 オーム社



あなたは自分自身の体についてどれだけ知っていますか？ 肘を曲げると「カゴぶ」ができるのはなぜか、赤ちゃんの体温が高いのはなぜか、声はどうやって出るのか、テレビを見すぎると目が悪くなるというのは本当か、乾布摩擦は本当に健康にいいのかなど。人体の複雑な構造とはたらき、そして医学が扱う広い分野のエッセンスを、わかりやすい言葉で説明してくれています。

京都市岩倉図書館

住所：京都市左京区岩倉下在地町16
電話番号：(075) 702-8510

開館時間：月・水・金・土・日・祝日 午前9時30分～午後5時
木曜(祝日は除く) 午前11時30分～午後7時

***** 休館日：火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日) 年末年始 *****

臨時休館：2025年2月23日(日)～27日(木)

京都市左京図書館

住所：京都市左京区高野西開町5
電話番号：(075) 722-4032

開館時間：平日 午前9時30分～午後7時
土・日・祝日 午前9時30分～午後5時

臨時休館：2月17日(月)～19日(水)

(公財)京都市生涯学習振興財団

※ここで使用している画像は 出版社の許可を得て掲載しています